



2024年1月12日

## 公開シンポジウムのご案内

### 「戦間期国際秩序の形成とその変容—地域間比較と日本—」

主催：公益財団法人日本国際問題研究所、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター

日本国際問題研究所では、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターとの共催で「戦間期国際秩序の形成とその変容—地域間比較と日本—」と題するシンポジウムを開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。当研究所では、「国際共同研究支援事業（領土・主権・歴史調査研究支援事業）」の試みの一つとして、戦間期国際秩序の形成で日本が果たした役割について、同時代の各国の視点から検証を進めています。

第一次世界大戦後の国際秩序はパリ講和会議で画一的に定まったわけではなく、その後1920年代を通じて、各地域をめぐる国際会議や交渉の積み重ねによって形成されていきました。本シンポジウムでは、各分野で専門の研究者をお迎えし、ヨーロッパ、中近東、東アジアなどの地域秩序の変遷を比較検討し、当時の日本外交の「ルールメーカー」としての側面に光を当てます。そうして形成された地域秩序、その上に成り立つ国際秩序がその後いかに動揺し、変容、そして崩壊していったのかという点も議論し、戦間期国際秩序に日本がどのように向き合ったのかを捉え直します。

本シンポジウムは会場（札幌）とオンライン（Zoom）での同時配信のハイブリッド方式で開催致します。多くの皆様のご参加を是非お待ちしております。

#### 記

- 日時：2024年1月20日（土）13:30-18:50（日本時間）（受付開始：13:00～）
- 会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 札幌大通5F（Zoomの同時配信あり）  
住所：北海道札幌市中央区南1条西1-8-2 高桑ビル
- 登壇者（登壇順）

#### 第一セッション「第一次世界大戦後の国際秩序の形成と地域秩序」

モデレーター：細谷 雄一（慶應義塾大学教授／日本国際問題研究所上席客員研究員）

スピーカー：藤山 一樹（大阪大学講師）

「第一次世界大戦後の国際秩序形成」

樋口 真魚（成蹊大学准教授）

「新秩序の形成と日本外交—日本はなぜルール・メイカーになれなかったのか—」

赤川 尚平（日本国際問題研究所研究員）

「第一次世界大戦後のトルコ講和における日本外交」

藤本 健太郎（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター非常勤研究員）

「日ソ不可侵条約が結ばない～1920年代ソ連の極東安全保障～」



コメンテーター：ヤロスラブ・シュラトフ（早稲田大学教授）

前田 亮介（北海道大学准教授）

## 第二セッション「戦間期国際秩序の動揺」

モデレーター：宇山 智彦（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）

スピーカー：高柳 峻秀（東京大学大学院博士後期課程）

「戦間期東アジア国際秩序における日中関係——教科書問題を中心に」

河西 陽平（中曽根康弘世界平和研究所研究助手）

「ソ連の1930年代における対日情勢認識——諜報活動の観点から——」

笠原 孝太（日本大学助教）

「乾岔子島事件がもたらした動揺とソ連の対日態度」

花田 智之（防衛省防衛研究所主任研究官）

「戦間期におけるソ連の極東戦略と国際秩序——安全保障の国際秩序化」

コメンテーター：麻田 雅文（岩手大学准教授）

北村 嘉恵（北海道大学准教授）

## 総合討論

ディスカッサント：川島 真（東京大学教授）

細谷 雄一（慶應義塾大学教授／日本国際問題研究所上席客員研究員）

4. 言語：日本語

5. 参加費：無料

6. 申し込み登録：参加をご希望の方は下記 URL または QR コードからご登録ください。

<https://event.event-planner.net/#/bundlesite/tbegrdp7>

7. お問い合わせ先：

日本国際問題研究所 札幌シンポジウム事務局

研究員：谷 一巳 / 研究助手：富田 優子

TEL：03-3503-7794 / FAX：03-3503-7411 / E-mail：240120sympo@jiiia.or.jp



以上